

年頭め ごあいさつ



幸田町長 ^{なる}成瀬 ^{あつし}敦

新年あけましておめでとございませう。昨年5月に幸田町長に就任し、はや7カ月が過ぎました。町民の皆さまにはご理解とご協力をいただき、皆さまと共に新しい年を迎えられましたことは、喜ひもひとしおであります。心より厚くお礼を申し上げます。

さて、人口減少、少子高齢化が進展する社会情勢にあつて、本町は土地区画整理事業などの取り組みによって人口が増加し続けており、今や4万2千人もの町民が暮らしすまちとなりました。

このような状況の下、さらなる子育て・教育環境の充実に向けて、昨年は坂



崎小学校校舎増築、児童クラブの増設などを実現しました。北部中学校の施設整備では、校舎増築工事が本年2月には完了する予定で、引き続き既設校舎内部改造工事と校外用地の整備を進めるとともに、豊坂小学校校舎と給食センター増築工事にも取り組んでまいります。さらには、夏の暑さ対策として、小中学校すべての普通教室にエアコンの設置を進めてまいります。

昨年4月に開館しました多世代交流施設「豊坂ほっと館」は、多くの皆さまにご利用いただいています。今後も、子どもとの交流と居場所づくりに向け、児童館の整備を推進してまいります。

防災・減災対策につきましては、大規模災害時に通常の業務と災害対応を並行して行えるよう、幸田町業務継続計画（BCP）を策定しました。今後も、近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震や大型台風に加え、スピード感をもって町民の皆さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

福祉・医療対策につきましては、健康に暮らせる町づくりとして、シニア・シルバー世代の技術経験や社会体験を生かして、就業、起業の支援をするサポート事業を進めてまいります。また、安心して出産や子育てができるよう、産婦健診、産後ケア事業に取り組んでまいります。



土地区画整理も岩堀地区は完了に近づき、六栗地区、深溝里地区は終盤を迎えてまいりました。今後も引き続き、人口5万人を目指し、新たな市街地整備や企業誘致に向けた土地利用計画づくりを進めてまいります。

本年も、さまざまな機会で町民の皆さまの声を伺いし、第6次幸田町総合計画において本町が目指すべき将来像として掲げる「みんなでつくる元気な幸田」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、町政への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健康とご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたします。